

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
都市ブランド戦略の推進	推進体制の整備と連携強化		1 シティプロモーション推進体制整備事業

事務事業名	シティプロモーション推進体制整備事業	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進課	担当係	ブランド戦略係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	少子・高齢化を背景に自治体の活力の維持を目指した取組が全国的に展開されている。このような状況の中、佐野ブランドキャラクター「さのまる」が2013年ゆるキャラグランプリで優勝したことから、「さのまる」を活用したPRを積極的に行い、また、平成26年度に「佐野市シティプロモーション推進基本計画」を策定し、シティプロモーションを推進する体制整備を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国的な少子高齢化を背景に、地方公共団体が活力を維持するための活動は益々激しさを増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	積極的に佐野市のPRを行うべきであり、庁内だけでなく、市民・団体等と連携してプロモーションを行うことが必要であるとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	(株)JTBCから職員を派遣することにより、全庁的なシティプロモーションの体制づくりを進めた。また、団体や学生と連携した体制づくりを進め、より広い層へのプロモーションに取り組んだ。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	基本事業に「推進体制の整備」が位置づけられており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民・関係団体等と連携した体制を構築するためには、市がシティプロモーション推進戦略に基づき先導して調整を進めることが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	行政だけの取組では、シティプロモーションの効果は限定的なものになってしまう。効果的かつ継続的に佐野市の魅力を発信するため、市民・企業・団体・大学等と連携し、「オール佐野市」でのシティプロモーションを推進することが求められる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市民・関係団体等とより連携した体制が構築できれば、プロモーションの幅が広がり、より効果的な戦略を推進できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	強固なシティプロモーション推進体制を整備するためにも事業費を縮小することはできず、コスト削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は全市民であり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	推進体制が構築されても、その体制維持のために本事業は継続しつづけることが求められるため、休止・廃止は難しい。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																								
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。	密な連携のための定期的な情報交換と、新しい連携先確保のためのリサーチを行う。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0</td> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持			×	0	低下	×		×	
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		①②																							
	維持			×																						
0	低下	×		×																						
	①市民・団体等との連携の強化 ②新しい連携先の開拓																									